Rollei SL84	
発売	1971 年
フィルム	スーパー8（サイレント）
レンズ	ローライ・バリオ 7-70 mm/F1.8
フィルター径	62mm
最短焦点距離	1.5m、マクロ機能なし。
ズーム操作	手動／電動（ボディ側面のスイッチで操作）
ピント	十字線入りピントグラスによる空中像式マニュアル。ピントの位置は 8 ミリカメラとしては比較的分かりやすい。
ファインダー内表示	下部の回転盤の数字は露出値を、上部のランプの点滅はバッテリーの有無を、右で振動する短針はフィルム走行を示す。
露出	TTL オート／ボディ上部のダイヤルによるマニュアル設定
感度設定	ISO 25-100（内蔵フィルター設定時）、ISO 40-160（内蔵フィルター解除時）。フィルムカートリッジの切欠き（ノッチ）をフィルム室のレバーが感知することによる無段階設定。カートリッジの切欠きへの加工によって感度設定の調整が可能。
内蔵フィルターの切替	ボディ側面のスイッチによる。太陽光下でデイライトタイプのフィルムを使用する場合、室内灯のマークにあわせて内蔵フィルターを解除する。
撮影速度	18、24、54 fps、ケーブルレリーズによるコマ撮りが可能。ボディ側面のレバーを押すことで瞬間的・一時的に 54 fps とすることができる。
シャッター開角度	180°
インターバル撮影（タイムラプス）	カメラ単体では手動でコマ撮りをすることになるが、「シネトリック（cinetric）」というアクセサリを取り付けることにより自動化。
フェード	カメラ単体では手動で可能。「シネトリック（cinetric）」というアクセサリを取り付けることによりオートフェードに。
同調録音	ボディ側面にパルス信号による同調録音システムらしきソケットがあるが、方式・アクセサリなど詳細は不明。
三脚	グリップ底部に三脚穴（小ネジ）。
電源	単 3 電池 6 本。露出計用の水銀電池（ボタン電池）は不要。
大きさ	250×180×65 mm（長さ×高さ×幅）
重量	1,325 g
備考	● ローライの 8 ミリカメラの最上級機。「小型映画」1974 年 7 月号 34-35 頁によると価格は 170,000 円。 ● ほぼ同形の Rollei SL83 は、SL84 よりもレンズのズーム倍率が小さく（7.5-60mm）、フェード機能が省かれている。 ● インターネット上の情報によると、ローライは製造にあたり Bauer ブランドで 8 ミリカメラを製造販売していたロバート・ボッシュ社の技術に依拠しており、機能的には Bauer C Royal 10 Zoom（1968 年）に相当する。
参考文献	「小型映画」1974 年 7 月号（第 34 巻第 1 号、通巻 245 号） http://www.super8data.com/database/cameras_list/cameras_rollei/rollei_sl84.htm http://www.film.project-consultant.net/html/rollei.html